

帯農生がICT建機体験 大樹

十勝毎日新聞電子版 9/17掲載

2020/09/17 8:00



ICT建機の説明を受ける生徒（左）

【大樹】平田建設（土幌、長谷川雅毅社長）は9日、町内の帯広広尾自動車道大樹町北1線改良工事の現場で、帯広農業高校農業土木工学科2年生38人を対象に「i-Construction（コンストラクション）現場見学会」を開いた。

i-Constructionは国土交通省が掲げる生産性向上の取り組み。設計、施工などの建設プロセスで3次元データを活用した情報通信技術（ICT）を用いる。見学会は、生徒たちに同技術を学んで将来に生かしてもらおうと実施した。

生徒たちは、現場代理人で同社土木課の平岡亮介課長と日立建機日本北海道支社の寺田昭仁主任から、工事概要と同技術について座学で学んだ後、ICT建機デモ機（バックホー）による操作を間近で見学。オペレーターがモニターを見て滑らかに操作する様子を、熱心に見つめていた。モニターを見ながらレバーを握って操作を体感できるシミュレーターを使い、操作方法も教わった。

デモ機の見学後、生徒の伊藤悠太さんは「モニターの通りに動き、動作も軽そう」と驚いていた。

（石原秀樹通信員）